

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年8月20日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年8月20日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【2号機 遠隔操作重機(BROKK100D)の不具合について】</p> <p>2号機オペレーティングフロアにおける残置物収納済みコンテナの移動・片付け作業にて協力企業作業員が、2号機遠隔操作重機(BROKK100D)を原子炉建屋西側構台前室に搬入し、遠隔操作用の通信確認を実施したところ、油圧低およびバッテリー低を示すエラー表示を確認。</p> <p>協力企業作業員が前室内でバッテリーの電圧測定およびリモコンによる動作確認を実施したところ、バッテリー電圧に異常は見られなかったが、油圧が上がらず動作が遅いことを確認。</p> <p>遠隔操作に切替後、再度動作確認を実施したが、油圧が低い状態であり、操作するとエンジンが停止した。</p> <p>遠隔操作重機(BROKK100D)を使用する作業は、遠隔作業重機(BROKK400D)で代替可能のため、2号機オペレーティングフロアにおける残置物収納済みコンテナの移動・片付け作業に影響なし。</p> <p>現在、エラー表示と動作不良の原因について、メーカーに確認中。</p>	GⅢ	8月17日
2	<p>【6号機 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機室の南側ホイストの一部動作不可について】</p> <p>当社社員が、6号機 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機室の南側ホイストの使用前点検を実施したところ、巻下げ・走行(東側・西側)操作は可能だが、巻上げ操作ができないことを確認。</p> <p>巻上げ操作のみが出来ないことにより、ペンダントスイッチボタンの接触不良と推定。</p> <p>当該ホイストは、今年度から当社社員の習熟度を上げるために、現在使用されていない6号機 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機の分解訓練のみで使用しているため問題なし。</p> <p>今後、調査し、原因に合わせた対策を実施予定。</p>	GⅢ	8月17日
3	<p>【協力企業作業員のガラスバッジー時不携帯について】</p> <p>「汚染水タンク水位計信頼度向上対策」に従事する協力企業作業員が、入退域管理棟退出時、ガラスバッジーを携帯していないことを確認。</p> <p>構内を探索したところ、旧構内企業棟で返却したクールベストのポケットにガラスバッジーを発見。</p> <p>作業終了後、クールベストを脱衣した際、ストラップのフックが破損しガラスバッジー収納袋がポケットの中に脱落したと推定。</p> <p>被ばく線量は、電子式線量計値0.00mSvだったため放射線管理上問題ないことを確認。</p> <p>協力企業各社に以下の内容を実施依頼済み。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体朝礼にて今回の不適合を周知 ・構内入域前にストラップおよびフックの目視確認を行い、破損兆候があるものは交換すること <p>今後、再発防止対策を検討。</p>	GⅢ	8月18日